

(添付資料)

安芸高田市 現地調査 10月28日(水) 13時～15時30分

1. 猪掛橋



写真-1.1 全景

プレキャストコンクリート製の上床版
下部工：



写真-1.2 上床版



写真 1.3 上床版 (下面より撮影)



写真-1.4 上床版

ひび割れ



写真-1.5

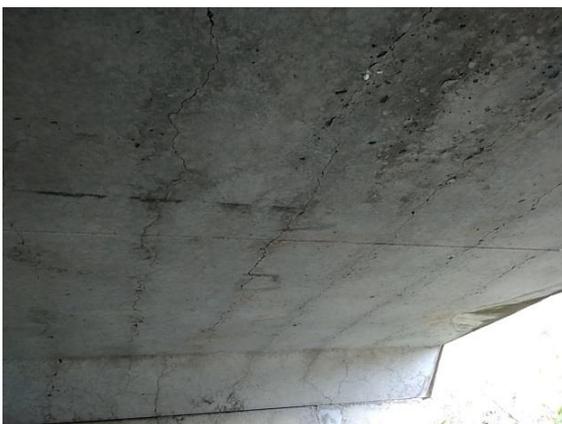


写真-1.6

2. 原穂地1号橋



写真-2.1 全景



写真 2.2 ボックス内の外観



写真 2.3

主鉄筋野腐食膨張によるひび割れ

雨掛かりのある箇所劣化



写真 2.4

ボックスカルバートの継目



写真 2.5

かぶり厚さの小さい個所で剥落
鉄筋の腐食膨張による



写真-2.6

スペーサの腐食

3. 砂田線 1号橋



写真-3.1 全景



写真-3.1 温度ひび割れ (A1面)

セメントの水和熱による温度ひび割れ
初期ひび割れで劣化が原因ではない。
0.7mmとひび割れ幅が大きい。



写真-3.3 温度ひび割れ (A2面)

セメントの水和熱による温度ひび割れ
初期ひび割れで劣化が原因ではない。
ひび割れ幅が0.9mmと大きい。



写真-3.4 上床版のひび割れ

温度ひび割れとみられる。



写真-3.5 コールドジョイント

打ち重ね時間間隔が長くなったことによる考えられる。(軽微)



写真-3.6 ひび割れ部のエフロ

ひび割れからの漏水でエフロレンセンスが見られる。(軽微)

4. 砂田線 2号橋



写真-4.1 全景

砂田線 1号橋と同種の構造物



写真 4.2 温度ひび割れ (A 1面)

セメントの水和熱による温度ひび割れ
初期ひび割れで劣化が原因ではない。
0.6mmとひび割れ幅が大きい。



写真-4.3 温度ひび割れ (A 2面)

セメントの水和熱による温度ひび割れ
初期ひび割れで劣化が原因ではない。
0.7mmとひび割れ幅が大きい。



写真-4.4 温度ひび割れ



写真 4.5 上床版のひび割れ

温度ひび割れ A 1 と A 2 面の連続
初期ひび割れで劣化が原因ではない。
0.5mmとひび割れ幅が大きい。



写真 4.6 剥落

スペーサの腐食による

5. 小原橋



写真-5.1 全景



写真-5.2 下部から望む

上床版からの漏水により、
下部工にはエフロが付着



写真 5.3 上床版

上床版からの漏水あり。
エフロレッセンスが見られる。



写真 5.4 鉄筋の腐食

腐食膨張による剥落



写真-5.5 軸方向のひび割れ

ひび割れ部にエフロレッセンス



写真 5.6 凍害とみられるひび割れ

6. 無名橋 11



写真-6.1 全景



写真-6.2 橋台の側面

ひび割れ幅 2.0mm



写真-6.3 橋台の側面

鉛直方向のひび割れ

ひび割れ幅 0.4mm



写真-6.4 部分剥落

スペーサの腐食とみられる。



写真-6.5 上床版のひび割れ

ひび割れ幅 1.0mm

乾燥収縮とみられるひび割れ

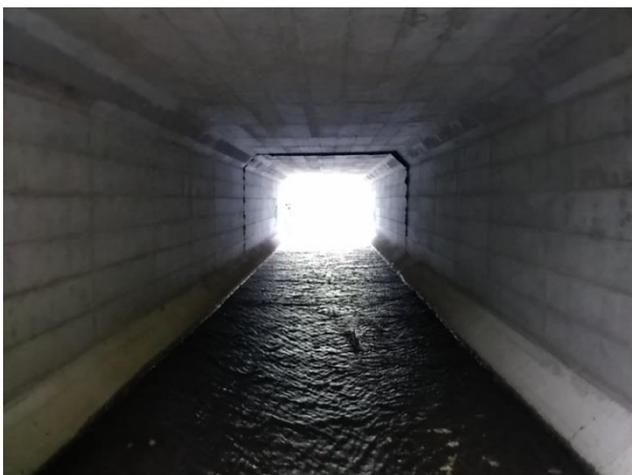


写真-6.6 ボックス内の全景

7. 工業団地橋



写真-7.1 全景



写真 7.2

鉄筋の腐食膨張による剥落

剥離したコンクリートから貝殻？
海砂使用が疑われる。



写真-7.3

橋台には鉛直方向のひび割れ
(初期ひび割れとみられる)

上床版につながっている。



写真-7.4 豆板

初期欠陥の豆板
材料分離が原因



写真-7.5

上床版の側面にひび割れ
ひび割れからの漏水
エフロレッセンス



写真-7.6 上床版の側面

ひび割れからの漏水
エフロレッセンス